

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮北小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	・国語では「主語、述語」にかかわる問題の正答率が低かった。ふだんから、主語や述語を意識して文を読んだり書いたりさせる。 ・算数では小数の減法や小数の除法の計算の正答率が低い学年があった。小数の減法や除法の計算も整数と同じように計算できるように気付かせ、そのための手順を考えさせる場を重視する。
思考・判断・表現	・国語の「読むこと」の領域の正答率が、低い学年が多かった。叙述や描写を基に考える、要約する、自分の考えをまとめるなどの活動を重視し、指導の工夫・改善を図る。 ・算数の「単位量あたりの大きさ」の問題の正答率が低かった。2つの関係を考える際は、数直線を用いて考えるようさせ、演算決定の方法を理解させる。
主体的に学習に取り組む態度	・算数の関心・意欲についての数値が4学年中、3学年が上回ったが、すべての学年で国語に比べ数値が低かった。一人ひとりの児童が「わかる・できる授業」をするため、友達同士のかかわり合いを深める話合いや学び合いを充実させ、授業改善を図る。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできるようにする(自校テストで平均正答率80%以上にする)。 ・各学年で学習する四則計算や公式を用いた計算などの理解を定着させる(自校テストで平均正答率80%以上にする)。	⇒ 漢字ドリルや計算ドリル、ドリルパーク等のICT教材を計画的に使用するとともに、家庭学習を充実し、児童の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
思考・判断・表現	R5年度のさいたま市学習状況調査の国語・算数の「思考・判断・表現」の数値を市平均の結果より上げる。	⇒ ・児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。 ・ICT機器も効果的に活用し、協動的な学びを通して、児童の思考を可視化して表現したり、考えを伝え合う活動や話し合い活動をしつづける。
主体的に学習に取り組む態度	・R5年度のさいたま市生活習慣等に関する調査の国語、算数に対する関心・意欲についてのアンケートの項目で、肯定的な回答の割合を市の平均値より上げる。	⇒ ・児童の関心を高める課題を設定したり、児童に課題づくりをさせたりして、児童が主体的に課題を解決する学習をする。 ・振り返りの活動を重視し、児童に自己評価させることで、自分の学びを振り返らせ、学習改善につなげさせたり、学習意欲を高めさせたりする。

<小6・中3> (4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	・ほとんどの学年で国語、算数ともに、自校テストで平均正答率80%以上にするという成果指標を達成することができた。	A
思考・判断・表現	・さいたま市学習状況調査の国語、算数の「思考・判断・表現」の数値は、4学年中、3学年が市の平均値を上回り、1学年が下回った。	B
主体的に学習に取り組む態度	・今年度の国語、算数の関心・意欲の数値は4学年中、3学年が上回り、1学年が下回った。	B

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	・国語、算数の「知識・技能」の観点において、二教科とも上回った。国語においては、「漢字を正しく使う」、「敬語を理解する」の項目の正答率が低かった。漢字の練習の工夫をしたり、日常生活での敬語を使用したりしていく。算数においては、「図形」、「割合」の問題の正答率が低かった。「図形」については、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を考えたり、作図の仕方を筋道を立てて説明したりすることができるように指導する。「割合」については、日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるように指導する。
思考・判断・表現	・国語、算数の「思考・判断・表現」の観点において、二教科とも上回った。記述式の問題の正答率が低く、自分の考えを分かりやすく書いたり、まとめることに課題がある。どの教科においても、書くことを重視し、書く時間を十分に確保し、自分の考えをもたせ、根拠を基に書く、事実と感想、意見を区別して書く、自分の書いた文章を読み返し、修正するなどの習慣を身に付けられるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	・国語、算数に対する関心・意欲の項目についての肯定的な回答は、二教科とも全国の平均値を上回った。算数に対する関心・意欲の肯定的な回答についてはやや低い数値であった。児童の主体的な授業の推進、児童同士の学び合いの時間や一人ひとりの児童の実態に合わせた課題に取り組む時間の確保、日常生活との関連を意識させる指導等に取り組んでいく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	・国語の「言葉の特徴や使い方に関する問題」について、市の平均正答率を上回った。 ・算数の「数と計算」の領域の問題について、市の平均正答率を下回った。 ・国語の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を下回った。 ・算数の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を上回った。 ・国語の関心・意欲の数値は市の平均値を上回り、算数の関心・意欲の数値も市の平均値を上回った。	小4	・国語の「言葉の特徴や使い方に関する問題」について、市の平均正答率を上回った。 ・算数の「数と計算」の領域の問題について、市の平均正答率を上回った。 ・国語の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を上回った。 ・算数の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を上回った。 ・国語の関心・意欲の数値は市の平均値を上回り、算数の関心・意欲の数値も市の平均値を上回った。
小5	・国語の「言葉の特徴や使い方に関する問題」について、市の平均正答率を上回った。 ・算数の「数と計算」の領域の問題について、市の平均正答率を下回った。 ・国語の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を上回った。 ・算数の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を上回った。 ・国語の関心・意欲の数値は市の平均値を下回り、算数の関心・意欲の数値も市の平均値を下回った。	小6	・国語の「言葉の特徴や使い方に関する問題」について、市の平均正答率を上回った。 ・算数の「数と計算」の領域の問題について、市の平均正答率を上回った。 ・国語の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を上回った。 ・算数の「思考・判断・表現」の観点の問題の平均正答率は、市の平均正答率を上回った。 ・国語の関心・意欲の数値は市の平均値を上回り、算数の関心・意欲の数値も市の平均値を上回った。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒
思考・判断・表現	変更なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒